

\*\*\*ある日の育児日記から\*\*\*  
 \*\*\* (25) 佐藤 和代 \*\*\*



有は七か月。あいかわらず、何にでも指をつつこみ、指先にケガが絶えないはずら坊主です。このあいだはとうとう、ヤケドをしてしまいました。といっても、触わったとたんワッと泣くようなヤケドではなかったのです。温風ヒーターの吹出し口に手をつけていたので、あわてて抱きあげたのですが、別に異常はなさそう。で、そのまま放っておきました。ところが、二三日すると指に水ぶくれが。何かしら、と思っっているうち化膿してぐじゅぐじゅになってしまいました。

小児科へ行ったら「低温火傷ね、もっと早く連

れてこなきゃ！」と叱られました。だって、ヤケドと思わなかったんだもの。有、ごめん。とにかく薬を塗って、包帯を巻いて。この包帯が大変でした。ヤケドが中指の先、薬指のつけ根、親指の下ととんでいるのです。女医さんはついに笑い出し、「ちょっと、この奇様な包帯、頼むわ」と看護婦さんに押しつけました。看護婦さんも悪戦苦闘したあげく「私、外科じゃないから」と苦笑いです。



いなかで、着物を着たら、ほとんども落ちる。

さて、できあがりは右手全部ぐるぐる巻き。これで外出すると言われてしまうのです。「まあひどいやケドね、お母さんダメじゃないの」包帯とれば小さなヤケドなのよ、信じて！